



Malaysian Philharmonic Orchestra Japan Tour 2009

マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団
日本ツアー2009

音楽監督: クラウス・ペーター・フロール

CLAUS PETER FLOR, *Music Director*

ヴァイオリン: ワディム・レーピン

VADIM REPIN, *Violin*

スメタナ: 連作交響詩「わが祖国」より“モルダウ”

Smetana: “Vltava” from Symphonic Poems “My Country”

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77

Brahms: Violin Concerto in D major op.77

ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

Dvořák: Symphony No.9 in E minor op.95 “From the New World”

©KASSKARA / DG

特別協賛:



ENEOS 新日本石油
Your Choice of Energy

三菱商事株式会社

オフィシャル・エアライン: JAL

協賛: ENEOS 新日本石油開発
Your Choice of Energy

三菱商事石油開発株式会社



Malaysian Philharmonic Orchestra Japan Tour 2009

大阪

9/8(火) 19:00 ザ・シンフォニーホール

Tuesday, September 8, 2009 at 7 p.m. The Symphony Hall

主催: 朝日放送 / KAJIMOTO

A ¥9,000 B ¥7,000 C ¥5,000 (税込)

名古屋

9/9(水) 18:45 愛知県芸術劇場 コンサートホール

Wednesday, September 9, 2009 at 6:45 p.m. Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

主催: KAJIMOTO マネジメント: クラシック名古屋 S ¥9,000 A ¥7,000 B ¥5,000 C ¥3,000 学生券 ¥2,000 (税込)

札幌

9/11(金) 19:00 札幌コンサートホール Kitara 大ホール

Friday, September 11, 2009 at 7 p.m. Sapporo Concert Hall Kitara

主催: 北海道新聞社 / 道新スポーツ / TVh / 道新文化事業社 S ¥9,000 A ¥7,000 B ¥5,000 C ¥3,000 D ¥2,000 (税込)

東京

9/14(月) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール

Monday, September 14, 2009 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

主催: KAJIMOTO

S ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥4,000 (税込)



マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団

Malaysian Philharmonic Orchestra

1997年、優れた演奏家を求めて、世界各地でオーディションが開始された。その結果、25ヶ国から集められた105名のメンバーによる管弦楽団が誕生した。それは、異なる文化や国籍をもつ音楽家たちによる調和を見事に具現化するものとなった。

これまでにマレーシア・フィル(MPO)と共演した数多くの国際的な著名音楽家には、マゼール、ロジェストヴェンスキー、ロストロポーヴィチ、マリナー、メヌーイン、レーピン、ベル、ティボーテ、モルク等が名を連ねる。そしてその多くが、MPOの音楽性の質の高さと力強さを称えている。2007年8月に開催された10周年を記念するガラ・コンサートには、ソプラノのスマ・ジョーを招いた。これを皮切りに1ヶ月に及ぶ音楽祭が開催され、マレーシアの管弦楽団の最高峰であるMPOの魅力が存分に紹介された。

2008/09シーズンから、新しい音楽監督にクラス・ペーター・フロールを招いている。3シーズンにわたって首席指揮者を務めたバーメルトや、音楽監督を7シーズン務めたバークルスといった華々しい前任者達の実績を踏襲し、フロール

は卓越した音楽性で既に高い評価を得ている。MPOの年間100回を超すコンサートでは、3世紀にわたって作曲されてきた数多くのオーケストラ作品のほか、室内楽、現代作品、新たに特別に委嘱された作品が演奏されている。

また、高度な専門性に特化したプログラム「マレーシア人作曲家のためのMPOフォーラム」を主催しており、マレーシアの作曲家達に、MPOとの協力による創作活動の機会を提供している。この活動をきっかけに、2004年11月にMPO国際作曲者賞が創設され、40を超える国々の作曲家が応募した。

MPOはレコーディングでもすでに評価を得ている。これまでに12枚のCDがリリースされ、そのうちの10枚はVox、BIS、ナクソスの各レーベルから国際的に発売されている。

モットーは「Hear and You Will See (聴いてごらん。きっとわかる。)」。これは、偉大な音楽の奥深さ、力強さ、美しさを共有するというMPOの目的を表している。

MPOは国営石油会社(PETRONAS)から大きな援助を受けて活動している。

マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団 日本ツアー2009

音楽監督: **クラウス・ペーター・フロール**

CLAUS PETER FLOR, *Music Director*

ヴァイオリン: **ワディム・レーピン**

VADIM REPIN, *Violin*

2001年11月に初来日し、「アジアにこんなオーケストラがあるのか!」と日本の聴衆を驚かせたマレーシア・フィルが再びやってくる。マレーシアの国営石油会社ペトロナスの全面支援のもと、1998年に創設された国際的なオーケストラ。元ベルリン・フィル奏者や東欧の一流オーケストラの元メンバーなど、25を超える国(日本を含む)の音楽家たちが参加。こんなに多国籍なオーケストラ、常設団体では、まず他にないだろう。2001年の公演では、初代音楽監督キース・バークルスのもと、結成3年目のオーケストラがいきなり国際水準の演奏を披露した。

あれから8年。バークルスのあと、05年から08年までマティアス・バーメルトが首席指揮者を務め、08年にはドイツの名匠クラウス・ペーター・フロールが音楽監督に就任し、ますます充実した活動を展開しているようだ。08/09年シーズンは、フロールの指揮のもと、ハイドンの「四季」、ワーグナー管弦楽曲集、ブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」、マーラーの交響曲第6番「悲劇的」などのドイツ系の大曲のほか、今回の来日公演の曲目でもあるドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」やスメタナの「わが祖国」(全曲)などのチェコ音楽にも取り組む。今シーズンの客演指揮者には、オスモ・ヴァンスカ、マルティン・ジークハルト、ヴァシリー・シナイスキーなどの実力派が揃う。メンバー表を見ると、この8年間にそれほど楽団員は入れ替わっていない(彼らにとって働きがいのある環境なのだろう)。その間、アンサンブルは、一層の進化を遂げたに違いない。今回の来日公演では、フロールのもと、マレーシア・フィルがどれだけ成熟したのか、この耳で確かめたい。また、マレーシア・フィルを聴いたことがない人には、「アジアにこんなオーケストラがあるのか!」という驚きを体験してほしいと思う。

山田治生(音楽評論家)



クラウス・ペーター・フロール
(音楽監督)

CLAUS PETER FLOR, *Music Director*

ここ数シーズンにわたり、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団に定期的に客演を重ねてきたクラウス・ペーター・フロールは、2008/09シーズンの幕開けとともに、同オーケストラの音楽監督に就任した。2003年以来ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響の首席客演指揮者を務めているが、これは同楽団の音楽監督であるリッカルド・シャイア直々の要請を受けてのことであった。1991年から1994年にかけては、英フィルハーモニア管の首席客演指揮者、1991年から1996年にかけては、チューリッヒ・トーンハレ管の芸術アドバイザーとして活躍した。

ロイヤル・コンサートヘボウ管、ウィーン響、パリ管、バンベルク交響楽団、ロッテルダム・フィルや、ミュンヘン、フランクフルト、ハンブルク、ライプツィヒの各放送楽団を定期的に指揮しているほか、ミュンヘン・フィル、バイエルン州立歌劇場管、ロンドン響、NHK響、読売日響、ミラノ・スカラ座を客演指揮している。1985年にはロサンゼルス・フィルを指揮してアメリカ・デビューを飾り、続いてポストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィルを指揮した。また、モンテリオール、ミネソタにも頻繁に招かれている。

オペラの指揮では、特にドイツ・オペラやベルリン州立歌劇場での活躍が知られており、「魔弾の射手」や、ブリュッセルのモネ劇場での新演出による「ニュルンベルクのマイスタージンガー」を指揮している。モネ劇場の「マイスタージンガー」のプロダクションはその後東京でも上演された。

BMGクラシックスに多くの録音をしており、中でもバンベルク響とのメンデルスゾーン・チクルスは高く評価されている。同楽団とはブルッフのオラトリオ「モーゼ」の世界初演も録音している。



ワディム・レーピン
(ヴァイオリン)

VADIM REPIN, *Violin*

1971年ノボシビルスク生まれ。5歳でヴァイオリンを始め、早くも6ヵ月後にはステージで演奏した。11歳でヴィエニャフスキ・コンクールの金賞に輝き、モスクワとサンクトペテルブルクでリサイタル・デビュー。14歳で東京、ミュンヘン、ベルリン、ヘルシンキに、15歳でカーネギーホールにデビューし、17歳でエリーザベト王妃国際コンクールの史上最年少優勝者となる。

以来、世界最高級のオーケストラ、例えば、ベルリン・フィル、ボストン響、シカゴ響、クリーヴランド管、ロンドン響、ロサンゼルス・フィル、ハンブルク北ドイツ放送響、ニューヨーク・フィル、パリ管、コンサートヘボウ管、サンフランシスコ響、サンクトペテルブルク・フィル、スカラ座管など、アッシュケナーズ、ブレーズ、シャイア、ジョン・ドホナーニ、デュトワ、エッシェンバッハ、ゲルギエフ、ヤンソンズ、パーヴォ・ヤルヴィ、クリヴィヌ、レヴァイン、ルイージ、マリナー、マズア、メータ、ムーティ、ナガノ、ラトル、サロネン、テミルカーノフ、ジンマンら一流指揮者たちの指揮で共演を重ねている。また、音楽祭も、タングルウッド、ヴェルビエ、BBCプロムスなどからしばしば招かれている。2009年はティエリマン指揮ミュンヘン・フィルとの共演から始まり、ノット指揮バンベルク響、メータ指揮イスラエル・フィルとのツアー、サンタチェチーリア管、ゲルギエフ指揮ロンドン響とのアメリカ、ドイツ、フランス公演などに加え、ヴェルヴィエをはじめ欧州各地の著名音楽祭へ出演。

ドイツ・グラモフォン移籍第2弾となったシャイア指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管とのブラームスの協奏曲のCDも絶賛を博している。

使用楽器は、1736年製ゲルネリ・デル・ジェス“Von Szerdahely”である。

TICKET INFORMATION

チケットのお申し込み

大阪公演

ABC チケットセンター (ザ・シンフォニーホール内) **06-6453-6000**

〒531-8501 大阪市北区大淀南2丁目

電子チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:323-640] ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:51657]
CNプレイガイド 0570-08-9990 アスクPG 06-6222-1145 e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

ザ・シンフォニーホール ホームページ <http://asahi.co.jp/symphony/>

コンサート情報をはじめ、座席表やアクセスマップもご覧いただけます。

名古屋公演

クラシック名古屋 **052-678-5310** <http://clanago.com/>

アイ・チケット 0570-00-5310 <http://clanago.com/i-ticket> (クレジット、コンビニ決済可)

電子チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:326-641] ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:46263] 芸文プレイガイド 052-972-0430
栄プレチケ92 052-953-0777 e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

札幌公演

オフィス・ワン **011-612-8696** <http://www.officeone.co.jp/>

(電話受付10:30~18:30/土・日・祝日休)

Kitaraチケットセンター 011-520-1234 道新プレイガイド 011-241-3871 チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:326-925]
ローソンチケット 0570-084-001 [Lコード:18145] 大丸プレイガイド(南1西3) 011-221-3900 4プラプレイガイド 011-251-5574
JR北海道みどりの窓口・ツインクルプラザ e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

東京公演

カジモト・イープラス **0570-06-9960** <http://kajimotoeplus.com/>

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申し込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

電子チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:319-825] e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

お車でお越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。

ツアー・マネジメント: KAJIMOTO

- 0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目・曲順変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: (03) 3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>



便利なケータイサイトも
ぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス

